



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月6日

上場会社名 燦ホールディングス株式会社
 コード番号 9628 URL <http://www.san-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(氏名) 古内 耕太郎
 (氏名) 大井 信三

TEL 06-6226-1716

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,145	△1.2	185	△4.5	184	△2.6	227	226.2
25年3月期第1四半期	4,197	△4.5	194	△46.1	189	△46.8	69	△56.9

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 227百万円 (226.2%) 25年3月期第1四半期 69百万円 (△56.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	40.44	—
25年3月期第1四半期	12.40	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	25,606	20,318	79.3	3,617.61
25年3月期	26,445	20,204	76.4	3,597.16

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 20,318百万円 25年3月期 20,204百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	1.2	390	△18.4	390	△16.9	300	46.0	53.41
通期	18,100	0.5	1,520	△3.5	1,500	△3.4	870	8.1	154.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	6,082,008 株	25年3月期	6,082,008 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	465,351 株	25年3月期	465,351 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	5,616,657 株	25年3月期1Q	5,616,761 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策による株高・円安を背景に企業業績が改善し、資産効果による消費者マインドの改善に伴い個人消費が底堅く推移しました。さらに震災からの復旧・復興に向けた公共投資の増加も加わり景気は緩やかに回復しつつあります。

葬祭市場においては、社会構造の変化に伴い、消費者の価値観やニーズも急激に変化しつつあり、葬儀の小型化傾向や単価の下落傾向が続いています。

また、長期にわたる安定的な需要が見込まれているため、既存業者や新規参入業者の間で、新たな会館出店を伴う顧客獲得競争が継続しています。

このような環境のもと、当社グループでは新中期経営計画（平成25年4月～平成28年3月）の主要テーマの一つとして、(株)公益社の東西エリアにおけるドミナント的な会館展開に取り組んでいます。その成果として、当第1四半期連結累計期間において、4月に「公益社 石橋会館」（大阪府池田市）、5月に「公益社 仙川会館」（東京都調布市）の2つの新規会館をオープンしました。

一方、費用に関しては、管理部門におけるコスト削減効果により一般管理費が低減しました。

また、成長に必要な資源確保の一環として、非事業用不動産を処分しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間（以下、当期）の営業収益は41億45百万円（前年同四半期〔以下、前年同期〕比1.2%減）、営業利益は1億85百万円（前年同期比4.5%減）、経常利益は1億84百万円（前年同期比2.6%減）の減収減益となりました。ただし、上記不動産の売却に伴う固定資産売却益2億33百万円を計上した影響で、四半期純利益は2億27百万円（前年同期比226.2%増）の増益となりました。

セグメントの業績は次の通りです。

① 公益社グループ

公益社グループの中核会社である(株)公益社においては、葬儀件数が前年同期比3.6%増加しました。地域別には、関西圏で3.8%、首都圏で2.4%の増加となりました。

このように件数は堅実に増加したものの、会葬者の少ない葬儀が増加したことに加え、低価格帯葬儀の一般葬儀全体に占める比率が上昇したため、一般葬儀の単価は前年同期比6.3%低下しました。さらに、関西圏では大規模葬儀の単価も低下したため、葬儀単価は全体で前年同期比6.7%の低下となりました。

この結果、葬儀請負収入は前年同期比3.4%の減収となりました。

葬儀後の販売・サービスにおいては、仏壇仏具販売収入は増収を堅持し、返礼品販売収入も香典辞退の葬儀比率が高まる傾向にもかかわらず増収となりました。また、葬儀後の顧客ニーズに対応した紹介等に伴う手数料収入が高い伸び率を示しました。

しかし、これらの増収は、葬儀請負収入の減収を完全に補うには至りませんでした。

この結果、当セグメントの売上高は34億49百万円（前年同期比2.9%減）となり、セグメント損益は7百万円の損失（前年同期は21百万円の利益）となりました。

② 葬仙グループ

葬仙グループの(株)葬仙においては、葬儀件数が前年同期比4.0%増加し、さらに葬儀単価が4.3%上昇したため増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は3億43百万円（前年同期比8.4%増）となりましたが、セグメント損益は1百万円の損失（前年同期は20百万円の損失）となりました。

③ タルイグループ

タルイグループの(株)タルイにおいては、葬儀単価は前年同期比1.4%低下しましたが、葬儀件数が12.0%増加したため増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は2億77百万円（前年同期比10.0%増）となり、セグメント利益は21百万円（前年同期比50.5%増）となりました。

④ 持株会社グループ

持株会社グループの燦ホールディングス(株)においては、グループ会社からの不動産管理収入が増加した一方、受託手数料収入が減少したことにより減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は15億81百万円（前年同期比0.4%減）となり、セグメント利益は8億23百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、40億98百万円となり、前連結会計年度末比7億52百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金が8億4百万円減少したためです。

固定資産は215億8百万円となり、86百万円減少しました。主な要因は、不動産信託受益権が37百万円減少し、のれんが51百万円減少したためです。

この結果、総資産は256億6百万円となり、前連結会計年度末比8億39百万円減少しました。

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は34億48百万円となり、1億29百万円増加しました。主な要因は、賞与引当金が4億68百万円減少し、未払法人税等が3億17百万円減少した一方、固定負債からの振替により1年内償還予定の社債が10億円増加したためです。

固定負債は18億39百万円となり、10億83百万円減少しました。主な要因は、流動負債への振替により社債が10億円減少し、借入金の返済により長期借入金が76百万円減少したためです。

この結果、負債合計は、52億87百万円となり、前連結会計年度末比9億53百万円減少しました。

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、203億18百万円となり、前連結会計年度末比1億14百万円増加しました。この要因は、配当金1億12百万円を支払った一方、四半期純利益2億27百万円を計上したことにより利益剰余金が1億14百万円増加したためです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比2.9ポイント増の79.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,560,383	2,755,459
営業未収入金	598,045	495,718
商品及び製品	139,572	146,987
原材料及び貯蔵品	43,595	40,259
その他	510,902	660,662
貸倒引当金	△2,002	△990
流動資産合計	4,850,498	4,098,098
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,217,002	7,534,291
土地	10,786,654	10,785,443
リース資産(純額)	262,949	249,661
その他(純額)	360,044	134,661
有形固定資産合計	18,626,651	18,704,057
無形固定資産		
のれん	622,491	570,650
その他	173,101	167,137
無形固定資産合計	795,592	737,788
投資その他の資産		
長期貸付金	505,203	495,985
不動産信託受益権	619,662	582,256
差入保証金	667,812	663,816
その他	403,457	347,003
貸倒引当金	△22,889	△22,180
投資その他の資産合計	2,173,247	2,066,882
固定資産合計	21,595,491	21,508,729
資産合計	26,445,989	25,606,827

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	701,920	536,849
短期借入金	30,000	10,000
1年内償還予定の社債	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	585,668	517,668
リース債務	80,561	80,335
未払法人税等	369,980	52,096
賞与引当金	660,492	191,638
役員賞与引当金	50,560	12,450
その他	839,491	1,047,456
流動負債合計	3,318,675	3,448,494
固定負債		
社債	1,500,000	500,000
長期借入金	660,915	583,998
リース債務	194,374	181,154
退職給付引当金	120,878	127,255
資産除去債務	152,413	152,871
その他	294,710	294,199
固定負債合計	2,923,292	1,839,478
負債合計	6,241,967	5,287,973
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,568,157	2,568,157
資本剰余金	5,488,615	5,488,615
利益剰余金	13,160,528	13,275,360
自己株式	△1,013,280	△1,013,280
株主資本合計	20,204,022	20,318,853
純資産合計	20,204,022	20,318,853
負債純資産合計	26,445,989	25,606,827

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業収益	4,197,177	4,145,984
営業費用	3,573,090	3,565,386
営業総利益	624,087	580,598
販売費及び一般管理費		
役員報酬	75,440	71,889
給料	83,452	87,032
賞与	6,216	6,759
賞与引当金繰入額	15,250	18,598
役員賞与引当金繰入額	10,002	12,450
貸倒引当金繰入額	△550	△1,721
のれん償却額	51,840	51,840
減価償却費	14,958	15,016
その他	173,213	133,170
販売費及び一般管理費合計	429,823	395,035
営業利益	194,263	185,563
営業外収益		
受取利息	3,185	3,076
受取配当金	5	4
受取保険金	468	4,409
雑収入	4,832	6,472
営業外収益合計	8,492	13,962
営業外費用		
支払利息	11,964	9,919
雑損失	1,548	5,293
営業外費用合計	13,513	15,213
経常利益	189,243	184,311
特別利益		
固定資産売却益	—	233,025
特別利益合計	—	233,025
特別損失		
固定資産除却損	47	1,752
特別損失合計	47	1,752
税金等調整前四半期純利益	189,195	415,585
法人税、住民税及び事業税	93,803	113,504
法人税等調整額	25,742	74,915
法人税等合計	119,546	188,420
少数株主損益調整前四半期純利益	69,649	227,164
少数株主利益	—	—
四半期純利益	69,649	227,164

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	69,649	227,164
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	69,649	227,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,649	227,164
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,544,310	316,741	252,515	83,609	4,197,177	—	4,197,177
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,659	—	—	1,504,876	1,512,535	△1,512,535	—
計	3,551,969	316,741	252,515	1,588,485	5,709,712	△1,512,535	4,197,177
セグメント利益 又は損失(△)	21,208	△20,117	14,561	825,574	841,226	△651,983	189,243

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	△600,000
のれん償却額	△51,840
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	△143
合計	△651,983

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,443,706	343,369	277,825	81,083	4,145,984	—	4,145,984
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,562	—	—	1,500,778	1,506,341	△1,506,341	—
計	3,449,268	343,369	277,825	1,581,861	5,652,325	△1,506,341	4,145,984
セグメント利益 又は損失(△)	△7,438	△1,740	21,919	823,780	836,521	△652,209	184,311

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	△600,000
のれん償却額	△51,840
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	△369
合計	△652,209

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。